



向陽

＜学校教育目標＞

- すすんで考える子
- すなおで思いやりのある子
- ねばり強くやりぬく子
- 明るくたくましい子

令和4年11月29日 発行

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果 ・分析と今後の対策（6年生～全学年）

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査（対象：6学年児童）の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査を「6年生だけの結果」ととらえずに、「全校児童の結果」ととらえています。その上で、児童の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。加えて、ご家庭と連携して資質・能力の向上に取り組んでいきたいと思っておりますので、是非、ご一読ください。



1. 教科に関する調査結果

国語

全国の平均正答率と比較して相当低い結果でした。

【話すこと・聞くこと】

この領域の問題は2問でした。正答率は全国と比べ相当低い結果でした。「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」という記述式の問題に課題が見られ、無解答率も全国平均より高くなりました。

【書くこと】

この領域の問題は2問でした。正答率は全国と比べ、相当低い結果でした。特に「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」の選択式の設定問題は正答率が全国よりかなり低くなりました。また、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」の記述式の設定問題では、正答率が35.7%と全国より低くなり、無解答率も21.4%でした。

【読むこと】

この領域の問題は4問で、正答率は全国と比べて相当低い結果となりました。3問は選択式の設定問題で「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」設定問題では、正答率が全国より相当低くなりました。記述式は1問で、全国と比べるとやや低い結果でしたが、この領域の中では最も正答率が高くなりました。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

この領域の問題は6問でした。正答率は全国と比べ同様の結果でした。漢字の書き取りの設定問題で誤答が見られました。また、「文の中における主語と述語との関係を捉える」の設定問題では、全国平均正答率を少し下回り、文の構成についての理解に課題が見られました。漢字の書き取りの設定問題で無解答がありました。

算数

全国の平均正答率と比較して低い結果でした。

【数と計算】

この領域の問題は6問でした。全国と比べて相当低い結果でした。特に「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる」の問題に課題が見られ、正答率は0%でした。

【図形】

この領域の問題は4問でした。全国と比べてやや高い結果でした。特に「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる」設定問題では、正答率が全国より相当高くなり、無解答もありませんでした。

【変化と関係】

この領域の問題は4問で、全国と比べてやや低い結果でした。特に「示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している」設定問題では、選択式であったにもかかわらず正答率が低くなりました。日常の具体的な場面に対応させて割合を捉えることに課題がありました。

【データの活用】

この領域の問題は3問で、全国と比べて相当低い結果でした。「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる」設定問題についての正答率は全国とほぼ同様（下位）となり、無解答は一人もいませんでした。

理科

全国の平均正答率と比較してほぼ同様（下位）の結果でした。

【エネルギー】

この領域の問題は4問でした。全国と比べて相当高い結果でした。「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる」の設定問題は記述式であったにもかかわらず、全国の正答率を大きく上回りました。

【粒子】

この領域の問題は5問でした。全国と比べてやや低い結果でした。「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもちることができる」設定問題では、全国の正答率より低くなりましたが、無解答率は0%でした。

【生命】

この領域の問題は5問でした。全国と比べて相当低い結果でした。「昆虫の体のつくりを理解している」は選択式で無解答率は0%でしたが、正答率は50%と、全国と比べて相当低くなりました。

【地球】

この領域の問題は5問でした。全国と比べて相当低い結果でした。「水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している」設定問題では正答率が全国と比べて相当低くなっており、科学的な言葉や概念の理解に課題がありました。

対策

★学校では今後このような指導を行います★

☆『授業改革』を行います。

児童が話す・話し合う場面を45分の中で多く設定し、「学び方」を見直します。学び方を転換することで、学ぶ楽しさを醸成します。ICT(タブレット)を効果的に活用します。

☆漢字や計算の確実な定着を目指します。

漢字の書き取りや計算に課題が見られました。これからも、授業での取組（漢字スキルやプリント学習等も含む）⇒宿題・自学等での復習⇒ミニテスト・まとめテストといった一連の地道な学習に着実に取り組むことで、「読み・書き・計算」といった基礎・基本の確実な定着を目指していきます。また、今回の調査では、割合の問題に難しさを感じている児童が多かったです。学習する際に、日常生活の事象において、二つの量の関係を表す数である割合が変わらないことを体験させる活動を取り入れて、数や式を日常の具体的な場面に関連付けて理解できるようにしていきたいと考えています。

☆自分の考えを表現する力を伸ばします。

今まで記述式の問題に課題があった中、日常の学習の成果が現れ、特に算数で記述式の問題も条件に合わせて書くことができる児童が増えています。一方、国語では、問題文が長文になると内容理解にとまどい、聞かれた内容とずれた解答もしばしば見られます。自分の考えを明確にしながら読むということに困難を感じており、「引用」や「字数制限」など示された条件に合わせて文章を要約することに苦手意識がある児童もいます。

学校では、自分の考えを書く時間を保障したり、自分の考えを友だちと交流したりするなど、全員が自分なりの考えを持った上で授業に参加できる手立てをとり、落ち着いて表現できる場面を増やしていきます。そのとき、自分の考えの根拠として、文章から適切に引用することができるように指導していきます。また、伝える相手を意識して、相手が求めていることは何かを選んだり、より伝わるためにどのような順序で書いたり話したりしたら良いのかを考えられるよう指導していきます。

また、表やグラフといった資料を読み取る力、文章と結び付けて読み取る力については、国語・算数だけでなく、理科や社会でも学習する場面はたくさんあります。授業の中で、今まで以上に大切に取り扱い、表やグラフを読み取り、文章をより深く理解できるように指導していきます。

☆習熟度別少人数学習をより充実させていきます。

3年生以上で実施している算数の習熟度別少人数学習において、「どんどんコース」「のびのびコース」「じっくりコース」の3つのコースで学習をすすめています。特に「じっくりコース」では、まず前学年までの復習に取り組むことを本校の約束事としています。これまでの積み残しをできるだけ少なくした上で新しい単元をスタートし、充実した学習にしていきます。また、少人数学習では、単元ごとに指導する教師が変わることがあるので、「どの教師からも同じ言葉（用語）で、同じ手順での学び」を目指していきます。

☆学習規律「心がまえ」「物がまえ」を徹底します。

全学級に「心がまえ」「物がまえ」の2枚を掲示し、常に児童の目につくようにしています。掲示しているだけにならないように、向陽台小の共通ルール（当たり前）として、「心がまえ」「物がまえ」を100%定着できるように徹底して行っています。

向陽っ子 物がまえ

平成31年度 千歳市立向陽台小学校

道具袋の中

- はさみ
- のり
- セロハンテープ
- 色鉛筆

ふでばこの中

- 家でけすった えんぴつ 5, 6本
- きれいに消える けしゴム 1こ
- よけいながざりがない じょうぎ 1本
- 大事なところに 赤ペン、青ペン、
ラインマーカー 1本ずつ

机の上

- 教科書は左、ノートは右
*左利きの方は、逆。
- 上に、鉛筆、けしゴム、赤ペン、青ペン、じょうぎ
*ふでばこは、机の中に入ろう。

向陽っ子 心がまえ

平成31年度 千歳市立向陽台小学校

学習中のきまり

- チャイムが鳴ったら、すぐ自分の席にすわる。
- あてられたら、
元気よく「はい!」と返事。
- お話は「です」「ます」を
上手に使う。
- しせいを正しく。
足はべタン。
背すじはピン。
おなかはグー。
- マスを使って、見やすいノート。
- 課題は赤く、まとめは青く、定規でかこむ。
- 席をはなれるときは、イスをしまおう。

2. 質問紙に関する調査結果

- 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えた児童は100%である。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童は100%である。
- 93%の児童が、自分にはよいところがあると思っている。
- 家で自分で計画を立てて勉強している児童が86%いる。
- 理科の勉強は好きと答えた児童は100%である。
- 普段1時間以上勉強している児童が57%にとどまっている。
- 1日あたり1時間以上読書をしている児童が14%で、全く読まない児童が29%となっている。
- 「国語の勉強が好き」と答えた児童が64%にとどまっている。

対策1

★基本的な生活習慣について★

朝食を毎日とるとともに毎日起きる時刻も一定と答えた児童が多く、大変良い生活習慣が身に付いているようです。一方、就寝時刻が不規則な生活を送っている児童が少なからずいることもわかりました。また、携帯、スマホ等で長時間ゲームや動画視聴する児童もあり、帰宅してからの時間、ゲーム等に多くの時間を費やしていることがわかりました。

1～6学年までの基本的な生活習慣（朝食・睡眠・ゲームなど）の状況については、7月に行った「生活リズムチェック」に引き続き、2回目を12月に行います。今回は、生活リズムの目標を学校で立て、カードをご家庭に持ち帰ります。お子さんと一緒によい生活リズムを意識して、カードに記入をお願いいたします。また、結果と考察を、保健便りに掲載予定ですので、ぜひご覧ください。



対策2

★家庭での学習について★

「家で1時間以上勉強をしている」と答えた児童が平日は57%、土日は71%、「全くしない」と答えた児童は平日0%、土日は14%いました。また、平日の1日あたりの読書時間が「30分より少ない」と答えた児童が50%、そのうち「全く読まない」と答えた児童が29%いました。学校でも、学校司書、森ツクを中心に図書ボランティアの方々のご協力をいただき、読書を推奨する活動を行っていますが、今後も学校図書（本の森）等を利用しての読書や家読などの大切さを伝え、読書習慣の育成を図っていきたくと考えております。

家庭学習時間としては、『学年×10分+10分』が目安とされていますので、しっかり確保できるように学校でも引き続き指導していきます。ご家庭での学習状況の確認や読書の推奨を是非よろしくお願ひ

これからも、ご家庭と学校が連携し、学力および学習状況の向上を目指していきたく思います。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。